

# きょうと福祉倶楽部だより

## 2022 新春 1号

国の仕事である介護職員の待遇改善をなぜ  
利用者が肩代わりするのでしょうか

また負担増です。

みなさんをご承知のように介護職員は介護報酬の影響も受けて「低賃金」が常態化しています。

その事態が介護職の慢性的な不足を生んでいるとも言われます。

「きつい」「汚い」「給料が安い」の3Kのうえに介護保険制度で「細切れ」にされた介護労働では介護の魅力さえ感じません。そんな状態を放置して、僅か月額9000円の賃上げの約束で現場の環境が好転するのでしょうか？

みなさんに以外と知られていない問題ですが、その為の財源はほとんど用意されていません。

いまま介護職員の給与の向上には「処遇改善加算」でまかなわれています。

つまり利用者が賃上げのために負担させられているのです。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年中は一方ならぬお引き立てにあずかりまして  
まことにありがとうございました。

介護保険は昨年も唐突に補足給付が変更され、利用者負担が数倍に跳ね上がる方が生まれたり、加算の造設で事実上の負担増、コロナ対策費用まで利用者に転嫁する「優しくない」取扱いがあたりまえのように繰り返されました。それでも怯むことなく利用者のいのちを守る当たり前の事を実現させるため活動を続けます。今年も宜しくご支援、ご指導お願い致します。

9000円の賃上げも当座はその仕組みの中で増加分は国庫負担で行われます。しかし今年の10月以降は介護報酬に付け替えるとしています。

それはすなわち介護保険の利用者の負担増を意味します。

10月からは医療費も原則2割負担、介護保険の負担率も2~3割りのいま、この仕組みではさらに利用の抑制が進むことは間違いありません。

わたしたちは実践の中できちんとした介護の提供は利用者の機能の維持、向上に直結することを知っています。介護保険をさらに「利用させない」ことにつながり負担増は高齢者の生活をさらに壊すことになるでしょう。

「金の切れ目がいのちの切れ目」というわが国。

「いのち第一」の国への転換が必要ではありませんか？



有限会社 おとくに福祉研究所  
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824  
京都府京都市天神4丁目7-12 ハイソプラザ101号  
TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808  
E-mail info@fukushi-club.com